

夏の日差しが厳しい中、子どもたちは元気にプール遊びを楽しんでいます。  
そんな中、プール遊びで「動」、お茶のおけいこで「静」。どちらも大切なぞうぐみさんの経験ですね！！

今月は、お運びさん(亭主)のおけいこ、お客様を『もてなす』という経験をしました。  
帛紗(ふくさ)を腰につけ、古帛紗にお茶碗を乗せて運びました。お茶をこぼさず運ぶのに、緊張感  
いっぱいの子どもたちでした。

## \*8月のお菓子



- ・貝
- ・カニ

## \*8月のお花



帛紗(ふくさ)



古帛紗(こぶくさ)

きららん どんす めいぶつきれ  
金襴や緞子などの名物裂  
といわれる裂地で作られ  
ています。



帛紗をたたみます。



三角に折ったら、  
腰につけます。



お菓子どうぞ…。  
真っすぐ運ぶのは  
難しい…。

こぼれないように…、  
そ〜っと…。



古帛紗の上で  
正面を向けて…。



『お茶どうぞ。』



## \*豆知識「和・敬・清・寂」

お茶の心を表す大切なことばです。千利休が500年位前に4つの文字で言い表しています。  
お茶を学ぶということはこの心を学ぶことです。

**和**…お互いどうしが仲良くすること。わかり合えることです。

**敬**…好き嫌いを超えて、相手を敬う心です。

**清**…心の中が清らかであること、自分自身が、自分の力で、自分の気持ちを浄めることを努力  
することです。

**寂**…心の中がどしんと落ち着いて、何物にも動じない心、いざと言う時に後で悔やんだり、  
失敗しないためには、予め準備をして心のゆとりを持つことが大切です。